

平成 28 年 11 月 9 日

豊岡市長 中貝 宗治 様

豊岡市基本構想審議会
会長 加藤 恵正

次期豊岡市総合計画の構成及び基本計画のあり方について（一部答申）

平成 28 年 2 月 1 日付で諮問のあった、次期豊岡市総合計画の構成及び基本計画のあり方については、審議の結果、次のとおり取りまとめましたので一部答申します。

また、次期豊岡市基本構想の策定については、引き続き検討を要するため、改めて答申することとします。

記

1 次期豊岡市総合計画の構成及び基本計画のあり方について

本答申では、従来の総合計画（基本構想、基本計画、実施計画）の構成を、基本構想及び市政経営方針とすることを提言します。

基本構想は、民意を踏まえて策定する「公共計画」として、議会において審議することが望ましいと考えます。

一方、市政経営方針は、4年間の市長の経営方針を明らかにし、社会の変化に速やかに対応し、実施していく「行政計画」として、行政の責任において進めて行くことが重要と考えます。

次期総合計画に求めることは、これまでのように市政全体に係る施策を網羅的かつ均一的に進める時代ではなく、目標を市民と共有し、その実現のために、最適な方法を選択して、成果が見える様にしていく必要があります。